

サッカーは楽しい！ボランテアも楽しい！

第35回神奈川県ゆあいピック大会開催

第35回神奈川県ゆあいピック大会が県内各地で開催されています。種目はサッカー、バスケットボール、バレーボール、ソフトボールの4種目。知的障害者のスポーツ大会として、練習成果の発表と社会参加の場となっています。

サッカーは、5月19、20、27日の3日間、國學院大學相模原グラウンドにおいて行われました。

藤沢エンジェルスは、平成12年県大会で優勝。同年の第9回ゆあいピックの全国大会(岐阜県)ではBブロック準優勝。当時キャプテンを務めた石川茂さんは、小学生の時からサッカーを続けています。平日はクリーニング関係の仕事をし、毎週末に県立藤沢養護学校のグラウンドで練習しています。サッカーの練習を楽しみに1週間



選手と審判で大活躍の石川茂さん



気迫のこもったプレーの連続



ボランティアの青木さん(中央)と吉川監督(右)

を過ごす石川さんは「これからもうずっとサッカーを続けていきたい」と言います。審判員4級の資格保有者でもあり、本大会では審判としても活躍しました。

藤沢エンジェルスは1987年に発足。当時、県立藤沢養護学校の教員だった吉川重樹監督が卒業生に手紙を書き、選手が集まりました。発足時からの選手は現在50歳。今もプレイしています。吉川さん自身も大学卒業後にハンド

ボールのチームなどに参加し、スポーツを楽しんできました。「障害者がスポーツのできる場所や機会がもっとあるとよい」と吉川さん。ボランテアのコーチ、保護者会や養護学校の協力もあり、31年間チームが続いています。

大会は県障害者スポーツ振興協

議会の主催。運営は県特別支援学校体育連盟と県知的障害者施設団体連合会から選出された養護学校等の教員や支援施設の職員が担います。また、当日は審判などボランテアの協力が欠かせません。大会で主審を務めた県サッカー協会の滝沢好一さんは、今回で4回目。「サッカーは生涯ずっとプレイできるスポーツ。だから楽しむよ、と伝える思いで審判をしています」と話します。この4年で選手が上達していることを実感しているそうです。

設営や審判補助は、光明学園相模原高校と麻布大学附属高校のサッカー部員、受付等は障がい者スポーツ指導員のボランテアです。受付の青木香織さんは「ボランテアを楽しんでいます。選手の頑張っている姿に元気をもらえます！」と言います。

会場は國學院大学のご厚意によるもので、大会趣旨に賛同した多くの方の協力のもと開催されました。みんなの「楽しい」「経験」「元気」が相まって、開催目的である障害者への理解とノーマライゼーションが促進されていきます。

〈企画調整・情報提供担当〉

成功事例の出前ははじめました!

医療・介護業界における人材採用の成功事例をお持ちします。求人広告を半年以上出稿しても、1人も採用できず困っていた介護施設。短期間に多数のスタッフが離職し、運営自体に支障をきたしていた老人ホーム。そもそも正社員の応募数が少なく、母集団形成すら出来なかった病院。など、弊社が制作したツールを介して、解決できた事例をご用意しております。お気軽にご相談ください。

全国社会福祉協議会様 <http://shakyo-hyoka.net/>  
神奈川県社会福祉協議会様 <http://www.knsy.jp/>

ホームページを弊社で制作いたしました!



TEL 045-650-1355 MAIL info3@directorsclub.co.jp 担当 東海林  
株式会社ディレクターズクラブ 横浜市中区山下町1番地 シルクセンター9階 http://www.directorsclub.co.jp



「福祉タイムズ」は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています